






5月29日
から

新しい防災気象情報で素早い避難行動を

いつ逃げるかを「レベル」で判断！

防災気象情報（河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮）にレベル名が付き、いつ避難すべきかが分かりやすくなります。

レベル1 早期注意情報	すぐに避難する必要はありません。 警戒レベルが上がった時に備え、家族で避難行動を確認しましょう。 ハザードマップを活用しよう！ ハザードマップで、自宅周辺の危険性を確認できます。		 詳しくはこちら
レベル2 注意報			
レベル3 警報	この間に絶対避難	高齢者等は危険な場所から避難 ● 避難に時間のかかる人は避難を開始 ● それ以外の人も避難準備や自主避難を開始	
レベル4 危険警報		危険な場所から全員避難 ● 災害発生が間近に迫っている段階	
レベル5 特別警報	すでに災害発生切迫	直ちに安全な場所へ ● 屋外が危険な状況の場合は無理な移動をせず、建物の中で最も安全な場所に移動	

気象警報等の発表が横浜市の南北で分かります

今まで市内全域で発表されていた気象警報等が、北部と南部に分かれて発表されるようになります。住んでいるエリアの状況にあった情報を知ることができます。

北部	青葉区、旭区、泉区、神奈川区、 港北区、瀬谷区、都筑区、鶴見区、緑区	南部	磯子区、金沢区、港南区、栄区、 戸塚区、中区、西区、保土ヶ谷区、南区
-----------	---------------------------------------	-----------	---------------------------------------



問合せ 防災・危機管理統括本部緊急対策課 ☎045-671-2064 ☎045-641-1677



海、港、緑、歴史、地域、人々、さまざまな魅力を持つ都市横浜。この街の彩りを「よこはま彩発見」としてお届けします。今回は、横浜フィルムコミッションを紹介します。

映像で届けるヨコハマの魅力

政策経営・国際戦略局広報・プロモーション戦略課 横浜フィルムコミッション担当

ドラマやCMを観ていて、「あ、この場所は横浜だ!」と気づくことはありませんか。横浜には、計画的にデザインされたみなとみらい21地区や、歴史が感じられる関内・馬車道、人情味あふれる野毛・伊勢佐木町などの個性豊かな景観、そして緑あふれる公園やきれいな街並みなど、多彩な表情がコンパクトに揃っていて、ロケ地としても人気があります。

実際に横浜を舞台とした映像作品は数多くあり、その撮影をお手伝いしているのが「横浜フィルムコミッション」です。2000年に開始したこの事業では、ロケ地の紹介から、撮影場所の下見、施設との調整、撮影許可手続きの案内など、映像制作のためのさまざまな支援をしています。これは、

横浜の美しい景観をより多くの作品に登場させてもらうためです。できあがった映像が広く世界に発信されることで、横浜のシティプロモーションにもつながっています。

5月1日(金)公開の映画「ラブソディ・ラブソディ」も、横浜フィルムコミッションが撮影を支援し、横浜らしい風景が物語を盛り上げています。観光地だけでなく街中のロケも多かったため、みなさんの知っている風景も出てくるかもしれません。

これからも、「横浜っていいな」と感じていただける瞬間を増やせるよう、映像を通した魅力発信を進めていきます。エンドロールに「横浜フィルムコミッション」の名前を見つけたら、市内で撮影された証。作品を通して、まだ知らない横浜の表情にも出会ってみてくださいね。



▲日本大通りで映画「ラブソディ・ラブソディ」を撮影している様子

映画「ラブソディ・ラブソディ」

主演：高橋一生
監督・脚本：利重剛
後援：中区役所



ウェブ版では
抽選で
読者プレゼント
あり

さらに
詳しい話は
こちら



問合せ 政策経営・国際戦略局広報・プロモーション戦略課 ☎045-671-3999 ☎045-661-2351